

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-83C	16-116	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
<p>To what extent is alcohol consumption associated with breast cancer recurrence and second primary breast cancer?: A systematic review.</p> <p>飲酒は乳癌の再発および二次原発乳癌の発症にどの程度関連するか? : 系統的レビュー</p>		
執筆者		
Simapivapan P, Boltong A, Hodge A.		
掲載誌		
Cancer Treat Rev. 2016 Nov;50:155-167. doi: 10.1016/j.ctrv.2016.09.010. Epub 2016 Sep 20. Review.		
キーワード		PMID
飲酒、乳がん、再発、二次原発		27693930
要 旨		
背景：		
<p>原発性乳がんの発症リスクは飲酒量と直線的な関連を示すことが報告されてきた。しかし、飲酒と乳がんの再発または二次原発乳がんの発症との関連は明らかではない。そこで、飲酒と乳癌の再発および二次原発乳癌の発症との関連を検討した研究の評価を目的とした系統的レビューを行った。</p>		
方法：		
<p>2016年1月に、6つのデータベース(Cochrane Library, EMBASE, MEDLINE, PubMed, Scopus, Web of Science)を用いて検索した。検索条件として、("breast cancer"または"breast adenocarcinoma"または"breast neoplasm"または"breast tumor")および("alcohol"または"alcohol intake"または"alcohol consumption"または"ethanol")および("recurrence"または"second primary")を設定した。独立した2名の査読者がタイトルと要約を確認し、選定・除外基準に従って論文を選考した。論文によって研究手法や設定が大きく異なるため、narrative synthesisによって結果の評価を行った。</p>		
結果：		
<p>調査の結果、選定基準を満たした16の研究のうち、14がコホート研究、2つが症例対照研究であった。また、乳がんの再発についての研究が11、二次原発乳がんについての研究が5つであった。これら16研究の間には、臨床上・研究方法論上の相当程度の異質性(heterogeneity)を認めた。乳がんの再発については、6研究で飲酒と再発リスク上昇に有意な関連を認めた。研究によっては少なくとも1日当たりアルコール換算6g以上で関連が確認された。また2研究では、閉経後女性でより関連が強かった。二次原発乳がんについては、3研究で有意な関連を認めなかったが、症例対照研究の2研究では、軽度ながら飲酒量と発症とに正の関連を認めた。</p>		
結論：		
<p>飲酒は、特に閉経後女性において、乳がんの再発リスクを軽度ながら高めるとの論文が多く見られた。一方で、飲酒と二次原発乳がんの関連については、まとまった結論に至らなかった。各研究間での異質性がその一因と考えられる。</p>		